



イベント参加者の作品を知床ボランティア活動施設で展示している様子

北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
電話 0152-23-3009 FAX 0152-23-3160
ホームページ <http://www.shiretoko.go.jp/>



紅葉の見頃を迎えた知床を デジカメでカシャッ！



10月5日、紅葉に染まる雄大な知床の風景を撮りながら森林散策を楽しむ第91回森林レクリエーションin知床『森林散策をしながら知床を撮ろう』を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、デジタルカメラ初心者19名の参加者は、最初に地元アマチュアカメラマンによる撮影の基礎を学んだ後、羅臼湖3の沼までの風景や紅葉を撮影しながら散策を楽しみました。

午後からは、知床ボランティア活動施設で、撮影した写真を1人1枚ずつ選んで印刷し、題名を付け額に入れて飾り、鑑賞会を行いました。デジタルカメラを使った森林散策は、初の試みでしたが、皆さん大変満足されていたようです。



第75回 森とのふれあい

～ 森の恵みで草木染め ～

11月3日に第75回森とのふれあい「森の恵みで草木染め」を開催しました。

参加者は4～60代の男女19名で、小さいお子様でも充分楽しめることから、親子で参加する方もいました。草木染めの材料に、ミズナラの殻斗、ヤマブドウの実、キハダの樹皮の3種類を用意。参加者は、材料の煮出しから模様付け、着色までの一連の作業を体験しました。

参加者からは「殻斗で色が染まった事にびっくりした。」「自分で模様を付けられ、きれいに出来たのでうれしい。」との感想がありました。



第29回しれとこ産業まつり

～ ペン立て・コースターづくり大好評！！～



9月28日に「第29回しれとこ産業まつり」が、みどり工房しゃりで開催され、町内外から1万人の来場者がありました。当日は、森林センターを含め町内外の44団体が物産品販売やサケのつかみ取り体験ブース等を出店しました。

森林センターは、木材に親しんでもらうため、「丸太切り体験」のブースを出店し、丸太切りと切った丸太で「ペン立て」「コースター」づくり体験を行いました。

参加者は、慣れないノコギリで汗を流しながら木を切り、ドリルで穴を開け、切り口をサンドペーパーなどで綺麗にし好きな絵を描き、おもい思いの「ペン立て」「コースター」を作っていました。なかには、1人で何個も作っている参加者もあり、皆さんから大好評でした。

このイベントを通じて、木材に触れる機会が少ない方々に木材の加工のしやすさ、温もりなどを伝えることができたと思います。



道民森づくりネットワークの集い2008

～ 森のテント村（ポスターセッション）に参加～

10月25日(土)、北海道赤れんが庁舎前庭で、森づくり活動等を行っている企業やNPO等及び木づかい運動の団体46団体が参加し道民森づくりネットワークの集いが開催されました。

当センターは、森のポスターセッションに参加し、「知床自然の森林づくり協働モデル事業」の取組やセンターで行っている各種イベント、調査などの取組、知床の国有林の見所などを紹介しました。

当日は、前日までの風雨もおさまり、10月末にしては暖かく、会場には森づくりに興味のある方や観光客など多くの方が訪れました。当センターのブースでも「知床は20年前に行ったきりなので、是非また行ってみたい。」と熱心に知床の写真を見ている方など多くの方が訪れました。



～平成20年度ミズナラ堅果(ドングリ)結実調査～ まずまずのなり具合で結果は並作でした

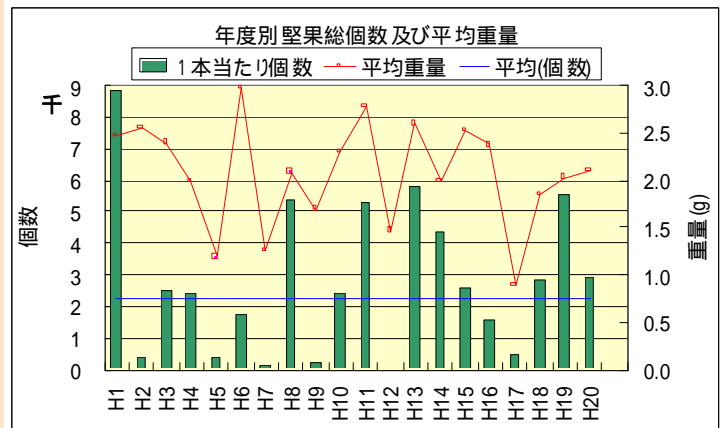
平成元年より毎年行っている「ミズナラ堅果結実調査」は、知床半島の主要な樹種の一つであるミズナラのドングリの結実を調査しており、今年で20年目となりました。



調査地・本数・時期は知床半島の岩尾別地区15本・イタシュベツ地区10本の2箇所にて設けられ、全部で25本のミズナラを9月上旬よりドングリの採れなくなるまで1週間毎に集め、今年10月末まで調査を行いました。調査の方法は、各調査木の枝の下にドングリを受け止める寒冷紗(かんれいしゃ)で作った1辺四方のトラップを調査木1本当たり3張り、全部で75張りを設置し、そこに落下するドングリを集めます。

(左写真)そして重さ・個数・直径・長径を1個ずつ量り、樹冠面積に対する係数を乗じて全体の数量を算出します。

昨年は6年ぶりとなる豊作となりましたが、過去のケースを見ると、豊作年の次の年は凶作になる傾向が多いことから、今年凶作が予想されておりました。しかし結果は、まずまずのなり具合でミズナラ1本当たりの個数は2,913個で平均重量は2.1gと結果は並作となりました。(右表)



知床永久の森林づくり協議会からのお知らせ 「知床の森を守り育てるエコロジカル体験ツアー」を実施

「知床永久の森林づくり協議会」では、森林づくり活動の実践として、「美しい森林づくり森林のつどい2008育樹祭」に併せて9月26日(金)～28日(日)の2泊3日の日程でツアーを実施しました。



育樹祭での間伐体験

参加者は関東圏の17名で、初日は東京農工大学オホーツク校で黒瀧教授の「オホーツク学」の講義を受け、知床を含めたオホーツク全体についての基礎知識を学び、その後、ウトロに移動し、フレペの滝散策やナイトツアーなどを行いました。



東京農大での講義

2日目は、午前中は育樹祭に参加し、トドマツの間伐を体験し、午後からは、原始的な森林を樹木医の鈴木氏とともに散策し、知床の天然林に感動し、森林や樹木に関する説明を熱心に聞き感心しておりました。



樹木医との森林散策



旭山動物園での講義

3日目は、旭川市旭山動物園坂東副園長から「北海道の森林環境と食物連鎖」というテーマで講義を受けた後、今夏にオープンしたオオカミの森などの園内施設を見学し、オオカミ絶滅の歴史を振り返りながら、ヒグマやエゾシカなど野生動物の現状などを学びました。

ツアー3日間の学び・体験・交流を通じて、知床の自然の雄大さや森林づくりの楽しさ、生態系を守るための課題などを実感いただけたのではないかと思います。

詳しくは、「知床永久の森林づくり協議会」のHP(下記URL)をご覧ください。

<http://www.shiretoko.go.jp/moridukurii/>

知床ボランティア活動施設から

今年5月のオープン以来、2500人以上の方にご利用いただいている知床ボランティア活動施設ですが、これまでの施設使用状況についてみると、夏期のキャンプ場利用者や地元の子供たちなど一般利用者の他、自然ガイド関係者や地域の団体の方にも多く活用されています。施設利用者の約15%が団体利用者で、今後も森林ボランティアや森林づくり関係の団体を中心に、多くの皆様にご利用いただきたいと考えています。

なお、展示見学等の一般利用は10月末までとなり、11月から来年3月までの施設使用については、事前に申込みのあった場合のみご利用いただけます。申込み方法等詳しくは知床森林センターホームページをご覧ください。

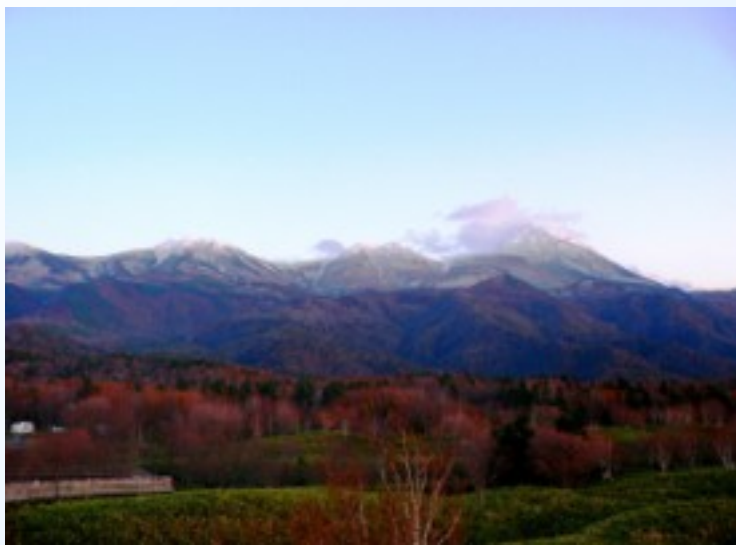


施設を使ったワークショップの一コマ

知床は今

例年より暖かかった知床にもいよいよ冬がやってきました。山々は頂に雪をかぶり、青い空を背景に緑、黄、赤、白が重なった姿は非常に美しく、神々しさを感じます。

今年の秋は暖かい気候のせいか、川を上るサケの姿が少なかったり、紅葉があまり鮮やかでなかったりと、季節の風物詩を楽しみにしていた方々には少し寂しい秋だったかもしれません。しかし、季節の変わり目というのも自然を見る楽しみが沢山の時期です。冬ごもりの準備をする動物や植物など。冬芽も樹木の冬ごもりの一つです。よく観察すると、木の葉が落ちたあとに小さな冬芽が見られるかも知れません。また、冬の準備として私たちが忘れてはならない(?)のがクリスマスの準備です！当センターでは12月3日にトドマツの枝葉からクリスマスリースを作るイベントを企画しています。自然の風合い



豊かな温かみのあるリースが作れますので、興味のある方は是非ご参加ください。（詳しくは知床森林センターHPでお知らせします。）



11月～H21年1月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHP (<http://www.shiretoko.go.jp/>) か電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所・定員	申し込み時期
11月3日(月)	森の恵を使って草木染め	知床森林センター	終了しました
12月3日(水)	森の恵を使ってクリスマスリース作り	知床森林センター 20名	11月4日～12月1日 定員になり次第〳切
H21年 1月10日(土)	冬休み企画・親子ネイチャークラフト体験	知床森林センター 20名	決定しましたら HPでお知らせします



この広報誌は道産間伐材を使用しています。